

平成27年度 事務職員のための

Eーラボ(後期)のご案内



後期の「事務職員のためのEーラボ」では、本学に類似した大規模私立大学の改革動向を調査し、それを発表してもらうことで、**本学の現在とこれからについて少し外から客観的に見つめてみる**ことを目的としたPBL型のプログラムを実施します。

また、**学んだ知識を、実際に使ってみる**。それが第2の目的です。前期では、大学の歴史、大学制度の現状、文科省の政策動向などについて、知識ベースの内容を扱ってきました。後期は、それらの知識を活用して、実際に幾つかの大学をさまざまな角度から「切って」みたいと思っています。果たして、あの大学、この大学の切り口からはいったいどんなものが見えるのでしょうか……。ただし、**切れ味を試すのは、私ではなく参加者の皆さん自身です**。本学と似た大規模私立大学を俎上に載せ、参加者のみなさんに、事例調査と発表をしてもらおうと考えています。そうしていただくことで、大学の切り方と見方、つまり、**分析的・多角的に大学を理解する技術**を磨いていただければ幸いです。その上で、もし「前期に学んだ知識は意外と切れ味がよい！」などと思っていたいただけたらこれはもう望外です。

「真剣試合」ではなくあくまで「試し切り」ですから、気軽に発表者としてエントリーしてくださることを期待しています。調査のノウハウやプレゼンの技術に触れることも可能になりますので、ぜひよい機会と捉えていただければ幸いです。もちろんオーディエンス(聴講者)としての参加も大歓迎です。

第1回目は、**ガイダンス的な内容**になります。教育開発支援機構事務課の安武 隆明さん、大浦 淑子さんのお二人に、「どんな内容の調査をして、どう発表すればよいのか」の実例として、それぞれ名城大学、早稲田大学の改革動向についてお話しいただき(第9回 教育改善活動フォーラムでの発表とほぼ同内容を予定)、調査・発表のフォーマットや要件も説明します。そのうえで、第2回目以降の発表希望者(グループでのエントリーも可)を募ります。

※プログラムの回数は、発表希望者数によって変わる可能性があります。今のところ3回を予定しています。

コーディネーター：須長

第1回プログラム

平成**28**年**1**月**14**日(木)
18:00~19:30
(2号館地下1階「会議室1」)

【内 容】

- 他大学調査報告… 名城大学 (担当：安武 隆明)
早稲田大学 (担当：大浦 淑子)
- 内容に関する議論と質疑
- 第2回目以降の発表希望者エントリー

※調査発表は、

2月18日(木) 18:00~19:30

2月25日(木) 18:00~19:30 を予定しています。

プログラム対象者

事務職員であればどなたでも参加できます。後期から初めての参加も歓迎いたします。

コーディネーター

- 須長 一幸 (教育開発支援機構 教育学修支援室 准教授)
- 橋場 論 (教育開発支援機構 教育FD支援室 講師)

前期 参加者の声

自分にとっては、視野を思い切り広げて「大学」について考えるととてもよい機会です。



普段交流のない他部署の方と意見交換をすることができ、大変有意義な時間でした。

申込方法

●参加申込フォームからの申し込み

こちら(<https://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/form/elaboform.html>)[学内限定]へアクセスし、必要事項をご入力ください。

●メールでの申し込み

教育開発支援機構事務課の管理用アドレス(kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp)へ「所属・氏名・在職年数」を記入の上、お送りください。

※申込締切：1月12日(火)

お問い合わせ先

教育開発支援機構事務課 (A棟地下1階)

担当：宮田 (内線：2852)

E-mail：kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp

皆さまの積極的なご参加をお待ちしております！

平成27年度 事務職員のための

Eーラボ(後期)のご案内



後期の「事務職員のためのEーラボ」では、本学に類似した大規模私立大学の改革動向を調査し、それを発表してもらうことで、**本学の現在とこれからについて少し外から客観的に見つめてみる**こと、また**学んだ知識を実際に使ってみる**ことを目的としたPBL型のプログラムを実施します。

前期では、大学の歴史、大学制度の現状、文科省の政策動向などについて、知識ベースの内容を扱ってきました。後期は、それらの知識を活用して、実際に幾つかの大学をさまざまな角度から「切って」みます。ただし、**切れ味を試すのは、私ではなく参加者の皆さん自身です**。本学と似た大規模私立大学を俎上に載せ、有志(発表希望者)の方に、事例調査と発表をしていただきます。そうしていただくことで、大学の切り方と見方、つまり、**分析的・多角的に大学を理解する技術**を磨いていただければと考えております。

第1回目は、教育開発支援機構事務課の安武 隆明さん、大浦 淑子さんのお二人に、「どんな内容の調査をして、どう発表すればよいのか」の実例として、それぞれ名城大学、早稲田大学の改革動向についてお話しいただきました。そしていよいよ、第2回目以降のプログラムでは、有志による発表を行います。果たして、あの大学、この大学の切り口からはいったいどんなものが見えるのでしょうか・・・。

発表者にとってはもちろん、オーディエンス(聴講者)としての参加者にとっても、本学の現在とこれからについて客観的に見つめる良い機会になるのではないかと考えております。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

コーディネーター：須長

プログラム日程

1回90分程度、全3回にわたり調査発表を行います。各プログラムは、有志による発表(各20分程度)と質疑応答・全体ディスカッションで構成されています。

全体ディスカッションでは、参加者全員が楽しく能動的に参加できるよう、タブレット端末をレスポンスアナライザー※として使用する予定です。

※ 学習者に答えや意見などを選択スイッチの操作によって回答してもらい、その集計結果を表示する装置

プログラム対象者

事務職員であればどなたでも参加できます。後期から初めての参加も歓迎いたします。

コーディネーター

- 須長 一幸 (教育開発支援機構 教育学修支援室 准教授)
- 橋場 論 (教育開発支援機構 教育FD支援室 講師)

申込方法

●参加申込フォームからの申し込み

こちら(<https://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp/form/elaboform.html>)[学内限定]へアクセスし、必要事項をご入力ください。

●メールでの申し込み

教育開発支援機構事務課の管理用アドレス(kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp)へ「所属・氏名・在職年数」を記入の上、お送りください。

※申込締切：**プログラム開催日の前日**

お問い合わせ先

教育開発支援機構事務課 (A棟地下1階)
担当：宮田(内線：2852)
E-mail：kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp

**第2回目以降は、
協働学修教室B(A810)
を使用いたします!**

協働学修教室Bは、昨年秋にオープンしたばかりの、さまざまな情報通信技術(ICT)を活用した少人数でのグループディスカッションが行える教室です。



**皆さまの積極的なご参加を
お待ちしております!**

